

つくしだより



令和5年10月号

東京都精神保健福祉家族会連合会

(東京つくし会)

〒182-0024 調布市布田 1-26-12

ダイアパレス調布 220

TEL/FAX : 042-453-7534

<http://www.tsukushi.sakura.ne.jp/>

発行者 眞壁 博美

2023. 10. 15 第399号

2023年度多摩ブロック

家族相談員養成講座報告

都連理事 安藤 万寿代

9月30日(土) 10時~12時、府中市立片町文化センターで開催され、参加者25名でした。助言者は西村由紀氏(メンタルケア協議会副理事長・精神保健福祉士)です。

※事例検討 1 当事者の娘は現在33才で、24才の時発症しました。娘は健常者として暮らしたい願望が強く、断薬や無謀な再就職で2回再発して、現在、Y病院に入院して5年になります。先日、病院から自宅に退院か転院をして欲しいと言われました。娘は本来外出できる状態ではないので、困って保健師さんに相談しました。

・会場から 病院から他の病院を紹介して頂く方法はどうか。保健師さんに相談して良かったです。
・助言者から 病院・保健師さん・家族を交えての話し合いをもたれて、病院と争わない方が良いと思います。病院の組織体制は慢性期にあまり力を入れなく、急性期には力を入れる傾向があります。病院と話し合わせる事は必要です。
※事例検討 2 息子(36才)は統

合失調症で、週3~4日半日のアルバイトをして6年目です。時々「僕がかわいそう」「もうちょっといい人生をしたい」とか言っており、困っています。

・会場から 息子さんは疲れている時に出ると思います。
・助言者から アルバイトをして、何かストレスがあった時に話されたのではと思います。共有の安心感を得たいのではないのでしょうか。お母さん一人で悩まないで下さい。
様々なお話が、今後の相談に役立つと思われました。

2023年度多摩ブロック

交流会報告

都連副会長 植松 和光

9月30日(土)の午後1時30分から午後4時まで府中市立片町文化センターで、多摩地域の家族会のブロック交流会が開かれました。参加家族会は18家族会、25名が参加しました。

都連からの活動報告を行いました。
1 家族相談員養成研修(講演会)の実施

「精神疾患とのつきあいかた」精神科医から家族へ伝えたいこと

日時 11月10日(金) 午後2時から
講師 大下隆司氏
代々木の森診療所院長

場所 東京都障害者福祉会館会議室
2 令和6年度東京都予算への要望
今回の要望で新たに分かったことが、アウトリーチ事業を実施している区市が17か所に増えたことです。実施区市は左記のとおりです。

新宿区、墨田区、港区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、練馬区、葛飾区、江戸川区、八王子市、昭島市、三鷹市

各単会から各区市に内容の確認をお願いします。

3 滝山病院事件について

9月13日の都議会厚生委員会で当会が提出した「医療機関における精神障がい者への虐待をなくし適正な医療へのアクセスを可能とする陳情」が全員一致で趣旨採択されたことなどが報告されました。

後半は参加18家族会からの活動報告がありました。



武蔵野市家族会

第二金曜会を訪問しました。

都連副会長 植松 和光

まだまだ真夏の日差しが照りつけるなか、第二金曜会を9月4日(月)午後1時30分に訪問しました。

会場は、武蔵野・三鷹地域センター(旧武蔵野保健所)でJR三鷹駅北口から徒歩10分くらいの所にあります。交流会は「武蔵野市議さんを交えての懇談会」ということで武蔵野市議会厚生委員会の方7名が参加、また家族と当事者も13名の方が参加されました。今回の主な内容は、第二金曜会が平成28年に市議会に提出した陳情が可決されたことに伴う、その後の武蔵野市の進捗状況の確認などについて議論しました。

その時の陳情の件名は「現在、そして(親なき後)においても、精神障がい者が尊厳を持って地域で安心して暮らせる福祉施策の充実を求める」でした。

家族会は会員の高齢化が進み新規会員の加入も少ないこと、それに伴い会の運営が滞っていることを踏まえ、ホームページを作成し家族会のことをもっと市民の皆さんに知ってもらいたいなどを市議さんと話されました。家族会は、会員数は少ないものの、精

神障がい者家族として役割をしつかりもち、北山会長さんを先頭に前向きな活動をされています。

私からは、東京つくし会から東京都への令和6年度予算要望のこと、滝山病院事件のことなどをお話させていただきました。

私自身もとても勉強させていただきました。第二金曜会の皆様有難うございました。

【家族会訪問】

文京区精神保健福祉家族会 「文京区家族会」

都連理事 安藤 万寿代

10月3日(火)13時30分～16時30分秋晴れの日に、文京区家族会を訪問いたしました。会場は文京区区民センターです。本日は、例会「茶話会」会員のみとの事で、久しぶりの男性一人と、最近ご入会された若いお母さんもお出でになり、合計9名の方が参加されました。

先ず、浅見会長のご挨拶と連絡事項で、「11月11日(土)13時30分～16時30分文京区民センターで、高森信子先生の講演があります」と話されました。

次に、私が、今回の家族会訪問は、東京つくし会の各家族会を理事が訪問する企画で、

特に女性の方にとのご依頼がありましたので訪問したことを説明しました。

続いて最近の「東京つくし会」の取り組みをお話し、「2024年度東京都予算要望」「滝山病院事件に関する事柄」「2023年度家族相談員養成研修」についてお話ししました。私の自己紹介では、当事者の息子(52才)の話として、現在、事業所へ通いながら一人生活している様子をお話し、「全ての社会資源を受け入れ、親から離れてアパートでの生活は自分の城を持つと同じで、自分自身の生きる力になるようです。」と話しました。

次に、ご参加の皆様から、自己紹介を兼ねて近況報告を話して頂きました。「当事者(妹)と共に生活をしており、かなり振り回されて困っています。」「親も高齢でまさしく8050問題を実感しています。」「当事者との距離を置く事を知りました。困難な当事者(息子)との事に弁護士を入れましたら、親がとても楽になり自由な時間が持てるようになりました。」というお話がありました。

文京区家族会は1996年(平成8年)6月に創立され、例会は隔月第一火曜日に開催し、会報は毎月発行されています。ホームページ「文京MCA家族のひろば」・講師を招いての勉強会が6回もあり、大変活発な会でした。ありがとうございました。

豊島区

豊島家族会を訪問しました

都連副会長 植松 和光

9月22日(金)の午後、前山理事と一緒に豊島家族会を訪ねました。家族交流会の場所は豊島区心身障がい者福祉センターで、西武池袋線椎名町駅から徒歩5分位の所にありました。私は、椎名町は初めてのところなのでたどり着けるか不安でしたが、しっかり施設の案内表示板が各所にありましたので無事に着くことができました。

会場は知的障がい者等の通所施設になっており、沢山の障がい者の方が活動をしていました。

さて、家族交流会は地域包括支援センターの職員の方を含め9名が参加、そのうち男性が3名でした。

交流会は、自己紹介と近況報告でした。親子二人で暮らしている方が多いことや父親との折り合いが悪く困っている、また、支援機関とつながっていないなどそれぞれ大変な状況が報告されました。前山理事から文京区家族会で行っている家族SSTの取り組みや東大病院のデイケアの活動内容の紹介のことなどを話され、11月に文京家族会が行う高森先生の家族SSTに参加したいので

会場を教えて欲しいとの意見が出ました。また、病院探しの話も出され「苦労されていることが良くわかりました。定例会にはいつも9名から10名くらいの参加だそうですが、こじんまりしている分中味の濃い話ができているようです。これからも楽しく頼りがいのある家族会できて欲しいなと思いました。豊島区家族会の皆さん有難うございました。また、伺います。

「訪問しました」

品川区の「年輪の会」

都連副会長 本田 道子

皆様はご存じだったでしょうか。

品川区で活動している「年輪の会」は当事者の方々の会で、すでに49年もの歴史のある会です。

かなり以前の話ですが、この会の主催で「ブレインバンク」についての研修会があり参加したことがあります。

その頃は私が「つくし会」にも入りたての頃で「ブレインバンク」についての知識もなく大変に参考になりました。その時は福島大学の丹羽先生で、自分も「ブレインバンク」に登録をしたい、とこの場で決めました。

それからも研修会のテーマがなかなか魅

力的でその都度参加させていただいておりました。そして研修会のあとの交流会にも。

入院の時の様子などの生々しい体験に、大変にショックを受けたことがありました。曰く「保護室からいくら呼んでも誰も来ない」「喉の渇きで、水を飲みたい、とどれほど訴えても水のない辛さ」「身体拘束の話」などなど。何人も同じように。人権などなきがごときの話です。辛い話です。後日、この時に伺った話と全く同じ状況が私の息子の身に起きるとはこの時はまだ考えられないことでした。

このようなすさまじい体験をお持ちの会の皆様に「何か話を」と言われても、迷います。結局私が福祉の道を志すようになった北海道での体験を少しばかりお伝えし、最近のつくし会の活動についてもお伝えして、勘弁してもらいました。

語る場を与えていただき感謝しております。ありがとうございます。



☆ 講演会のお知らせ ☆

○「こころ病む人のための家族・周りの関わり方」

日時 10月28日(土) 午後1時半～4時

講師 高森 信子氏

会場 武蔵野市 西久保コミュニティセンター

主催 武蔵野市第二金曜会 ☎090-1462-2890

○「みんなでやろう家族SST」

日時 11月4日(土) 午後1時半～4時

講師 高森 信子氏

会場 二幸産業・NSP健幸福祉プラザ

主催 サンクラブ多摩 ☎042-371-3380

○中野区家族セミナー

①「精神科医師のお話し病気の理解と対応

についてきいてみよう」

日時 11月5日(日) 午後1時半～3時半

講師 周愛巢鴨クリニック精神科医

花田 照久氏

②「散歩 みちくさのすすめ」災害に備えて

日時 11月19日(日) 午後1時半～3時半

講師 根津 力三氏

会場 スマイルなかの3階A・B会議室

問合せ・申込 中野区鷹宮すこやか福祉センター ☎03-3336-7111 要予約、先着40名

○東京つくし会主催講演会

「精神疾患とのつきあいかた

～精神科医から家族へ伝えたいこと～

講師 代々木の森診療所院長 大下 隆司氏

日時 11月10日(金) 午後2時～4時

会場 東京都障害者福祉会館 1階A1・A2会議室 無料・先着99名

申込 東京つくし会 FAX 042-453-7534

○「回復を高める接し方」

日時 11月11日(土) 午後1時半～4時

講師 SSTリーダー 高森 信子氏

会場 文京区民センター2階A会議室

主催・申込 文京区障害者基幹相談支援センター ☎03-5940-2903 要予約、先着順

○「訪問看護が家庭にもたらすもの」(仮題)

日時 11月18日(土)

講師 訪問看護ステーション鈴 芝田創太氏

会場 新宿区立障害者福祉センター

主催 新宿フレンズ ☎080-8082-0308

○「家族療法の現在 ～家族療法が家族

から教えてもらってきたこと～」

講師 心理療法士 NY認定セラピスト

辻井 弘美氏

日時 11月29日(水) 午後1時半～4時

会場 高円寺障害者交流館1階

主催 杉並家族会 ☎080-1004-1197

お詫びと訂正 つくしだより9月号の

巻頭ページ13行目の権利擁護センター

のサービスの内容で、預かり料1ヶ月は

千円の間違いでしたので、お詫びして

訂正いたします。



編集後記

10月1日より、京王電鉄と京急が精神障
碍者に対する乗車券の割引を実施しました。
全国的には大手では南海、近鉄、名鉄に続
いての実施です。

ところで、先行して実施した三社は一級
から三級とその同伴者を対象にして、乗車
賃5割引きを実施しました。この事は評価
すべきかとは思いますが、片道101キロ以
上の乗車で適用されるという条件ですので、
普段の生活には役に立ちません。

一方、都内で実施した二社については、
乗車料金5割引きは良いのですが、一級及び
その同伴者のみが対象になっており、二
級・三級所持者には対象外となっていて、
他障とは適用が異なっています。

精神障碍者は、何も一般客が込み合う時
間帯に乗り込ことはほとんどありません。
空いている時間帯で利用するのがほとんど
です。

精神障碍者に対する色々なサービスは、
ほとんど一級のみに限定されています。東
京都の場合、一級所持者の割合は、わずか
5.9%にしかすぎません。わずかな対象
者に実施したからといってお茶を濁されて
はたまりません。

空気を運ぶより障碍者への適用を!!

都連副会長 轡田 英夫

つくしだよりは赤い羽根共同基金の配分を受けて発行しています。